

南埼玉地区は埼玉(9園)、神奈川(2園)、千葉(2園)の姉妹園13カ園が交流し合い学びあっています。コロナ以前は年に7~8回の年長交流も、現在は3回の交流になっています。

今年度は5月さいたま市の公園、11月つくし保育園、2月鴻巣ひかり幼稚園・ひかりっこ保育園を会場にして交流会を行う予定ですが、5月は雨天の為中止。11月は感染症の影響で3園のみの参加、2月にやっと全園揃っての交流会ができました。

年長交流と各部会の様子をお知らせします

11/28(金) 年長交流 ~於：つくし保育園~

この日は荒馬座のワークショップを計画していました。「わらしこ」「ひかり」「つくし」の3園での交流会となりました。まずは「つくし」の在園児たちと一緒に荒馬座を見学。躍動感のある「ラッセラー・ラッセラー」の掛け声と踊りと共に自然と子どもたちの体も弾み、大きな声を出していました。

年長リズムでは、どの園も初めての交流とは思えない程、元気いっぱい楽しむ姿が見られました。「つくし」の広い園庭でご飯を食べたり、遊んだり、他園の友達ができたりと、参加園の少なさから当初は中止も考えましたが、子どもたちの姿から3園だけでも交流できてよかったと思いました。



2/13(金) 年長交流 ~於：ひかり幼稚園・ひかりっこ保育園~

やっと全園揃っての交流会を開催することができました。すべての子どもたちにとって130名ほどの大きな集団を経験するのは初めてなので、無理せず、けれど卒園期に入った子どもたちにふさわしい内容にしたいと考え進んでいきました。まずは「ひかり」の広い園庭、自然の木を利用した手作りの遊具、高い築山、ほかの園ではできなくなってきた大きな焚火等々目を輝かせていた子どもたちでした。

リズムの座り方をどのように決めるかを子どもたちに問いかけてみると、「誕生日順がいい」ということになりました。初めての大会、戸惑う子もいる中でしたが、この時期の子どもは「より高さを求めたい、新たなことに挑戦したい」という思いを持っているのだと改めて感じました。

土台のリズムや卒園期のリズムを行う中で課題が見えつつも、みんな臆することなく今の自分を精一杯表現し、最後にうたった「二月」の歌声はさらに素敵で感動的でした。



0才児部会 ~担当園：どんぐりっこ保育園・つくしんぼ保育園~

「からだ」「食」「あそび」「生活リズム」「保護者とのコミュニケーション」がテーマとなりました。

- * 食事の見学と離乳食の試食を実施
- * 子どもから、正面を向いて(上向き)遊ぶことの難しさが感じられ、子どもが「もっと!もっと!」と喜び、目を合わせて繰り返し遊びを楽しんで行くことで、人との関係や意欲が育つことを学び合いました。

1才児部会 ~担当園：やまばと保育園・めだか保育園~

「かみつき」「動きの少ない子」「排泄」が主なテーマとなりました。

- * かみつきの原因を考え、思いを受け止めながら保護者への理解も必要との意見も出されました。
- * 動きの少ない子については、その子にとってのスマールステップを大切にすること、担当保育士を決めることで活発さがみられるようになったとの報告がありました。
- * 排泄は「内臓のはたらきと子どもの心」を資料にして討議しました。

2才児部会 ~担当園：どんぐり保育園・あおいそら保育園~

参考文献「伝わる心がめげばえるころ」神田英雄著、「やわらかい自我のつぼみ」白石正久著、「全集3」斎藤公子著を学習し、グループ討議をしました。

「沖縄慰霊の日」を前に「月桃」を歌唱し、子どもたちに平和をどう伝えるのか、自分で考え動ける能動的な子を育てるとはということなのか、考えさせられました。

3才児部会 ~担当園：つばめ保育園・わらしこ保育園~

参考文献「3才児の発達と保育」ちいさいななま：小川絢子著、「子どもと保育3才児」大阪保育研究所著、をもとに3歳児の保育を確認し合いました。

保育者の要求が高くなってはいないか?どんな遊びが今の子どもたちに合っているのか?苦しさや大変さを抱えている中で生きている子どもに必要な手立てとは何か?等、保育を振り返り学び合いました。



4才児部会 ~担当園：こぐま保育園・どんぐり保育園~

参考文献「3歳から6歳」神田英雄著の中の“おすすめのページとその理由”をグループ討議しました。

「身体づくり」「懇談会の工夫」「メディア、ゲームについて」「担任が楽しく保育することが大切だが、子どもたちにどんな風に自由を保障していくのか」などがテーマになりました。

絵の学習では、絵のことだけでなく子どもがどのような生活や遊びをしていくのかを、考え学んでいくことが大事だと確認し合いました。

5才児部会 ~担当園：ひかり幼稚園・めだか保育園~

「愛着障害」「愛着形成」が年間を通してのテーマとなりました。

ひかり幼稚園、ひかりっこ保育園の実践報告を通して、「感情発達の未熟さ」「感情を育てる関わり」について学び合い、親子関係だけでなく、保育者との関係や園でできることは何かを考える機会になりました。

主任部会 ~担当園：つくし保育園~

参考文献「保育に愛と科学を」広木克之著、「民主的な保育者集団を目指して」5才児の保育大阪保育研究所著をもとに行いました。

- * 広木克之先生の「クルブスカヤ」の講演ビデオでの学習と討議を行いました。
- * 「保育体制」「学習会・研修・会議の持ち方」「若い保育者が長く続けていけるためには?」などを話し合いました。

給食部会 ~担当園：ピヨピヨ保育園~

- * 参考文献「ゴリラからの警告」山極寿一著についての話を聞きました
- * 無農薬野菜のお弁当とみそ汁を食べながら「体制」「人間関係」「会議の時間確保」「仕事内容」をテーマにそれぞれの思いを語り合いました。

~部会を終えて~

南埼玉での各部会は、お互いに遠方ということもあり、年に2回の開催となっています。それぞれの担当園を訪れ、その園の地域性や特色に触れ、子どもたちと一緒にリズムに参加する中で、新しい発見や学びが多くあります。担任たちが日頃の保育や悩みや思いを語り合い、共有し合い「また明日から頑張ろう」と前を向けるような機会になっていることを実感しました。